＜様式１＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　⑤ その他の施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名		22世紀の丘公園		担当課名	維持管理課	担当係	公園緑化係
区　分		内　容　・説　明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則					
	(2) 施設設置目的	「ゆっくり、じっくり、森づくり、みんなが集まる手作りの公園」を基本理念とし、将来に永く残せる、掛川らしい里山・里地の四季の景観づくりを目指している。					
	(3) 施設が有する設備・機能の概要	公園面積20.8ha（開園面積8.7ha）研修棟1棟　芝生広場　多目的広場　大型遊具　小型遊具　炭焼き施設　調整池　修景池　駐車場 コミュニティ施設（たまりーな）　大研修室(264.35㎡)　多目的室(108.38㎡)　研修室1・2（75㎡）　研修室3（56.25㎡）　和室研修室（77.07㎡） ボランティア室　図書ラウンジ　屋内遊び場mirocco					
	(4) 施設建設年度	平成19年度					
	(5) 耐震性能	あり	（耐震性能）	Ⅰａ			
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）	遊具改修工事			自動ドア部品交換		
		空調機器交換工事					
		LED交換工事					
		たまりーな施設の外壁工事					
		監視カメラシステム更新工事					
	(7) 指定管理者名	静岡ビル保善乃村工藝社管理運営業務共同事業体					
	(8) 指定期間	令和7年	4月1日から	令和18年	3月31日まで		
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし	※　設定ありの場合：期間	令和5年度	～	令和17年度	限度額：　584,672千円
	(10)施設の管理運営形態	③ 指定管理料＋利用料金併用制度					
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし	※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
	(12)その他事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし	※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり　☐ 提出なし	※　地方自治法第244条の2第7項による提出義務				
	(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし	※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和7年度				

区　分				R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
2 利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）		160,000	125,000	183,000	213,000	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）		79,624	83,848	161,971		
	内訳（施設・設備ごと）	研修室		36,317	36,464	34,822		
		グラウンドゴルフ		482	361	268		
		その他（遠足）		1,599	2,385	1,575		
		遊びの里・芝生広場		41,226	44,638	46,651		
		屋内遊び場mirocco		－	－	78,655		
	(2) 施設稼働率（利用率）			R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	研修室合計	A	平日昼間	59.8%	57.4%	54.1%		A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/（14*12ヶ月稼働日数） B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/（7*12ヶ月稼働日数） C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/（14*12ヶ月稼働日数） D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/（7*12ヶ月稼働日数） 研修室が7部屋あり日中はAM・PMとあるので（7*2＝14） 夜間は時間帯が1パターンなので7
			B	平日夜間	11.4%	10.1%	9.7%	
			C	土日祝昼間	49.8%	51.3%	48.4%	
		定員387人	D	土日祝夜間	12.3%	14.3%	20.2%	
		大研修室	A	平日昼間	62.2%	63.0%	63.0%		A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/（2*12ヶ月稼働日数） B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数 C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/（2*12ヶ月稼働日数） D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数 平日研修室はAM・PMとあるので稼働日数に*2をする
			B	平日夜間	7.4%	7.9%	7.6%	
			C	土日祝昼間	48.3%	57.5%	51.3%	
		定員150人	D	土日祝夜間	4.3%	11.5%	3.5%	
		研修室1	A	平日昼間	56.1%	66.1%	71.1%		
			B	平日夜間	10.6%	15.9%	23.8%	
			C	土日祝昼間	48.3%	63.2%	61.1%	
		定員　36人	D	土日祝夜間	4.3%	4.7%	10.6%	
	（施設・整備ごと）	研修室2	A	平日昼間	65.2%	69.3%	61.1%	
			B	平日夜間	5.9%	3.7%	2.2%	
			C	土日祝昼間	52.6%	65.6%	59.7%	
		定員　36人	D	土日祝夜間	3.5%	3.8%	27.4%	
		研修室3	A	平日昼間	69.1%	67.2%	65.9%	
			B	平日夜間	12.8%	12.2%	11.4%	
			C	土日祝昼間	63.0%	63.2%	58.4%	
		定員　27人	D	土日祝夜間	54.8%	37.7%	61.1%	

2 利用状況	（施設・整備ごと）	多目的ホール	A	平日昼間	45.2%	68.3%	70.8%		
			B	平日夜間	2.1%	23.3%	23.2%		
			C	土日祝昼間	41.3%	72.2%	64.2%		
		定員　66人	D	土日祝夜間	4.3%	40.6%	37.2%		
		和室研修室	A	平日昼間	50.0%	53.4%	47.0%		
			B	平日夜間	2.1%	0.0%	0.0%		
			C	土日祝昼間	41.3%	34.4%	43.8%		
		定員　36人	D	土日祝夜間	4.3%	1.9%	1.8%		
		屋内遊び場 mirocco	A	平日昼間	－	－	73.6%		
			B	平日夜間	－	－	－		
			C	土日祝昼間	－	－	77.5%		
		定員250人	D	土日祝夜間	－	－	－		

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
3 管理運営状況	(1) 指定管理者名		中部 ビル保善（株）	中部 ビル保善（株）			※ 1-(7)　現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費		408	414	469		
	(3) 運営日数		303	302	298	302	
	(4) 運営人員	① 正規職員	2.0	2.0	3.0	3.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員	12.0	12.0	28.0	26.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、％）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	26,267,981	29,280,645	37,048,692	22,924,000	
	② 印刷費	0	0	0	0	
	③ 通信費	281,096	258,224	355,778	451,000	
	④ 事務用品・旅費・図書費等	1,303,870	483,329	45,663	462,000	
	⑤ 借上料	293,814	427,570	616,770	343,200	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	3,624,706	3,907,262	948,024	1,051,600	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	681,980	360,270	36,973,647	36,830,200	
	小　計	32,453,447	34,717,300	75,988,574	62,062,000	
	対前年度増減率		7.0%	118.9%	−18.3%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08実績	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	7,875,560	7,513,880	188,760	7,888,760	
	植栽管理	7,700,000	7,338,320	0	7,700,000	
	機械警備	175,560	175,560	188,760	188,760	
	② 修繕費	206,800	107,580	201,300	330,000	
	③ 光熱水費	10,310,723	6,834,722	7,856,203	14,091,000	
	④ 燃料費	32,080	105,167	156,571	55,000	
	⑤ 清掃費	0	0	264,000	264,000	
	⑥ 保守点検費	3,919,134	4,313,614	3,056,346	5,245,240	
	⑦ その他（施設消耗品等）	1,049,430	896,442	1,003,078	1,188,000	
	小　計	23,393,727	19,771,405	12,726,258	29,062,000	
	対前年度増減率		−15.5%	−35.6%	128.4%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		55,847,174	54,488,705	88,714,832	91,124,000	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		58.1%	63.7%	85.7%	68.1%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		2,211,150	1,202,780	36,799,640		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		6.8%	3.5%	48.4%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	2,211,150	1,202,780		※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料	55,808,500	54,334,500		
収支差額　(a)－(b)	▲ 53,597,350	▲ 53,131,720	0	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入			36,799,640	※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【(a)－トータルコスト】			−51,915,192	
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）			53,120,000	

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入	11,581,586	11,295,695	11,611,484	
(b) 自主事業の支出	7,926,321	7,535,917	10,368,576	
収支差額　(a)－(b)	3,655,265	3,759,778	1,242,908	
(c) その他事業の収入				
(d) その他事業の支出				
収支差額　(c)－(d)				

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	3,616,591	3,605,573	2,447,716	(利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支)－トータルコスト
対前年度増減率		−0.3%	−32.1%	

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　施設全体の満足度	80.0%	81.7%	3	
B　サービス内容の満足度	80.0%	79.2%	2	【達成できていない点・主な課題】 【いつまでに、どのように対応するか】 アンケート結果を分析し、不満要因を把握したうえで、案内・受付対応、清掃、情報提供、職員対応等の見直しを行う。必要に応じて研修や運用改善を実施し、改善後も利用者の声を確認しながら継続的に見直す。
C　従業員応対の満足度	80.0%	81.0%	3	
D　施設安全対策の満足度	80.0%	80.9%	3	
E　美感・清潔感の満足度	80.0%	85.3%	3	
F　施設の利用者数	183,000人	161,971人	2	【達成できていない点・主な課題】 【いつまでに、どのように対応するか】 ・みろっこが昨年7月にオープンし、4月～6月の利用者分の増加が見込まれる ・イベント等のPRを行い利用促進を図る

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	1	【達成できていない点・主な課題】 ・昨今の物価高騰のため、自主事業の講師料及び販売しているドリンクの仕入れ価格が上昇したため、収支差額が縮小した 【いつまでに、どのように対応するか】 ・価格上昇に対して、自主事業参加料やドリンク価格は据え置いていたため、価格見直しを検討する。また、自主事業参加者を増加させるため、積極的な情報発信を行う
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	【達成できていない点・主な課題】 ・たまりーなは、老人福祉センター機能を有しており、社会福祉協議会が研修室等を無料で優先利用しているため、使用料収入を増やすことが困難である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・公園管理担当課と、福祉担当課にて、最適な公園運営体制について協議をおこなう。研修室等の優先予約について、市・指定管理者・社会福祉協議会で現状確認をおこなう。 ・施設利用（自主事業など）へのPR
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

28 ／ 33

Ⅴ その他自由意見